



第142話 まんが：じっく

## じっくり考え抜いた一年間、 そして研修開始へ



主人公の野原拓人さんは、実家の農地を守らうと就農を決め、Jターンするにしました。ワンストップ新規就農相談窓口で、品目選定に向けて、これまで数種類の品目の説明を受け、ようやく品目を決めました。春からは、研修がスタートします。



▽「いわて純情米アンバサダーとの集い」に参加し、雄星投手の特別講演を拝聴しました。短い時間の中で勉強になることが多い、メモを取る手が止まりませんでした。印象的だったのは「新しい挑戦をするときは必ず笑われた」というエピソード。周囲のネガティブな評価に立ち向かい挑戦を続けてきた姿に心打たれました。私も自分自身を信じて、人生という試合に勝ちたいです。（熊谷）

▽「立春」が過ぎ、暦の上では春になりましたがまだ寒い日が続いています。次の二十四節気の「雨水」は、雪が雨に変わる頃で、古くから農作業を始める目安とされています。各生産部会でも、栽培の準備のための指導会や総会などが開かれる時期になりました。今年の生産に向けてじっくり準備万端に過ごしてほしいと思います。（阿部）

### 編集後記